



一般社団法人 日本テレワーク協会



一般社団法人セキュアIoTプラットフォーム協議会

安心安全テレワーク施設 認証プログラム

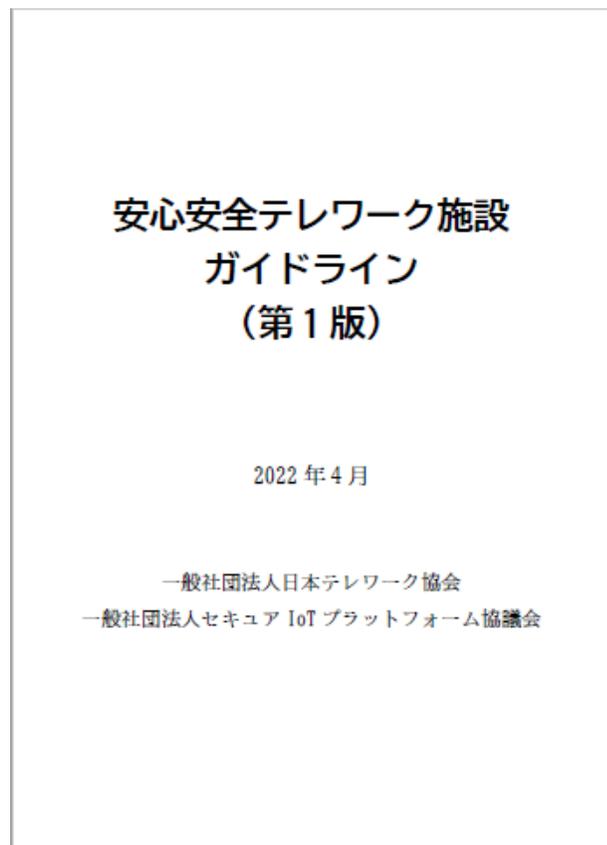
2024年4月

日本テレワーク協会

セキュアIoTプラットフォーム協議会

認証プログラムの目的と概要

本プログラムは「共同利用型オフィス等で備えたいセキュリティ対策について（第2版）2021年3月」の改定版として、総務省・経済産業省・厚生労働省のオブザーバー参加を受けて作成した「安心安全テレワーク施設ガイドライン」を認証基準に、テレワーク施設の情報セキュリティや作業環境面での安全性への適合性を検査し、検査結果を審査、認証するものである。



セキュリティ、作業環境、施設環境の課題と対策

第1章	セキュリティ管理体制の構築（ポリシーの例示等）
第2章	個人情報・利用者管理
第3章	入退出管理
第4章	ネットワークセキュリティ
第5章	物理セキュリティ
第6章	作業環境管理（居室の空間確保、照明、換気、什器備品等要件）
第7章	施設環境管理（セキュリティや安全衛生に対する現場対応の考え方等）

基本対策、応用対策、対策事例、コラム、チェックリスト

認証プログラムの対象

■対象：

- 地方公共団体、各種団体、企業等が運営するサテライトオフィス、コワーキングスペース、レンタルオフィス、シェアオフィス、フレキシブルオフィス（フレックスオフィス）、サービスオフィス等、第三者の利用に供する施設。
- 1拠点、1店舗単位の認証取得を原則とするが、複数施設の経営・運営体制、運営上のポリシー、ネットワーク等システム環境が共通な場合は、サンプリング検査結果により、複数施設の適合性を認証する場合がある。

適合性評価

【情報セキュリティ評価】

第三者検査機関が実施する情報セキュリティ監査と脆弱性診断結果に基づき、ガイドラインへの適合性について、総合評価を行う。

情報セキュリティ監査	リスク評価	説明
	低未満	基本、応用対策に適合している。
	低	基本対策に適合している。
	中から高	リスク発生の可能性があり、基本対策の構築から始めることが必要。

脆弱性診断	リスク評価	説明
	低未満	対策を講じるべきリスクが存在しない。
	低	将来的に改修が推奨されるリスク、危険性の低いリスク、ないしはその両方が存在している。
	中から高	ネットワーク侵入や個人情報の漏えい等の危険性の高いリスクが有り、早急に改修が必要。

【作業環境評価】

作業環境に係る安全性評価は、チェックシートに基づきセルフチェックの上、適合状況を示す証跡と合わせて認証機関に提出する。

認証のグレード

第三者検査機関検査

プレミアムグレード



ガイドライン基本対策・
応用対策に適合した
高度な情報セキュリティ
および作業環境対策が
構築されており、利用者が
信頼してテレワークが可能。

監査/検査項目

- ・情報セキュリティ監査：基本・応用対策
- ・脆弱性診断
- ・作業環境診断（セルフチェック）

ビジネスグレード



ガイドライン基本対策に適合
した情報セキュリティおよび
作業環境対策が実装されて
いる。脆弱性検査を実施して
いないため、脆弱ではない
エビデンスが不足している。

監査/検査項目

- ・情報セキュリティ監査：基本対策
- ・作業環境診断（セルフチェック）

セルフチェックグレード



ガイドライン基本対策への
適合性についてセルフチェック
と証跡（エビデンス）で確認する。

確認項目

- ・情報セキュリティ監査：基本対策（セルフチェック）
- ・作業環境診断（セルフチェック）

新設

セルフチェック

認証基準に適合する場合の提供物

認証機関は検査対象の施設が認証基準に適合する場合、その適合レベルに応じた認証マークのシールに加えて、認証証書を発行する※1。

項目	単位
登録基準	1事業者1施設（拠点・店舗別）
認定有効期間	初回認証日より1年間
発行物	認証証書：1通
	認証マークシール：1枚
	認証マークデータ：JPEGファイル※2
	検査結果報告書：1通（PDFファイル）※3 判定結果報告書

※1 提供物については変更の場合があります。

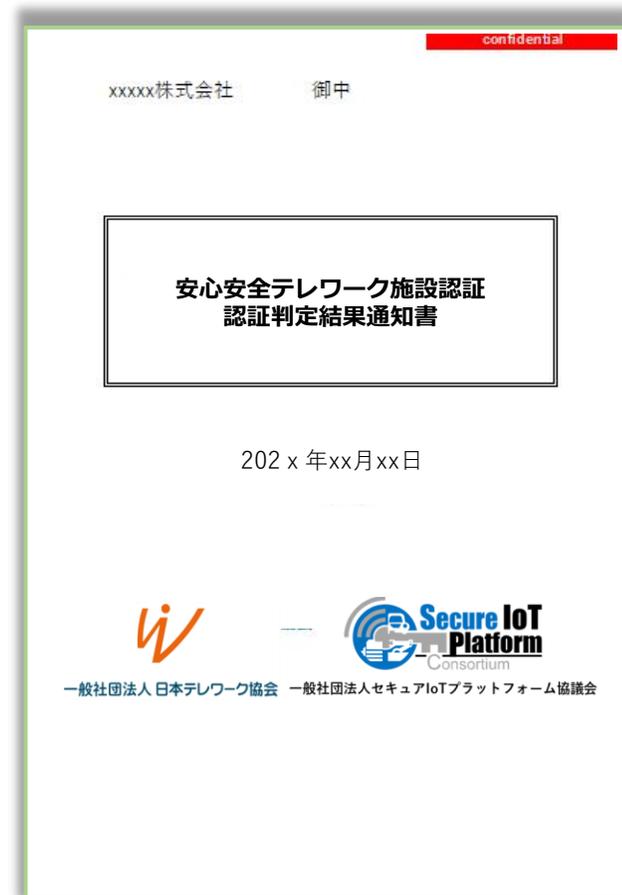
※2 ホームページやパンフレットなど印刷物への掲載に利用いただけます。

※3 検査結果報告書は、検査を実施した全ての施設に関して提供します。

セルフチェックグレードについては検査結果報告書、判定結果報告書は提供しません。



認証証書（1通）



判定結果報告書（PDFファイル1通）

認証機関HPへの掲載（適合の場合） ※非公開希望の場合を除く

認証機関HPの例

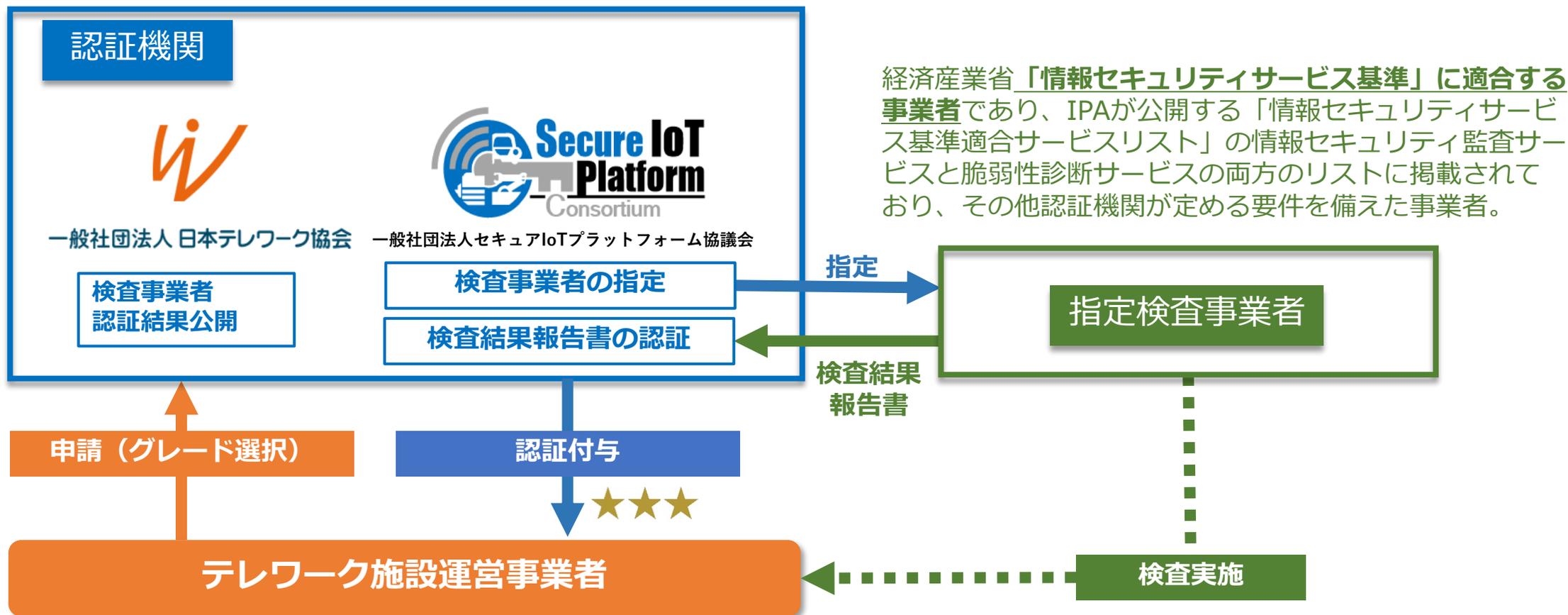
The screenshot shows a website for the Japan Telework Association. The navigation bar includes links for Home, Telework Information, Workation Information, Association Overview, Association Activities, and Contact Us. There are buttons for 'メルマガ申込' (Newsletter Sign-up) and '会員ログイン' (Member Login). The main content area is a search form with the following sections:

- 住所** (Address): 都道府県市区町村名 (Prefecture/City/Town/Village Name)
- 安心安全 テレワーク施設認証** (Safety and Security Telework Facility Certification): 認証取得済み (Certification obtained)
- 会員種別** (Membership Type):
 - 法人 (Company) 個人 (Individual) ドロップイン (Drop-in)
 - 月額（定額） (Monthly fee)
 - 凡例** (Notes):
 - 法人：法人会員対象 (Company: Company member target)
 - 個人：個人会員対象 (Individual: Individual member target)
 - 月額（定額）：月額、年額等の定額会員 (Monthly fee: Monthly, annual, etc. fixed-fee members)
- スペース種別** (Space Type):
 - ブース (Booth) コワーキング (Coworking)
 - 個室 (Private room) 会議 (Meeting)
 - 凡例** (Notes):
 - ブース：席ごとに仕切りのあるスペース (Booth: Space with partitions for each seat)
 - コワーキング：席ごとに仕切りのないオープンなスペース (Coworking: Open space without partitions for each seat)
 - 個室：鍵や遮音性などのある個室スペース (Private room: Private room space with keys, soundproofing, etc.)
 - 会議：貸会議室 (Meeting: Rental meeting room)

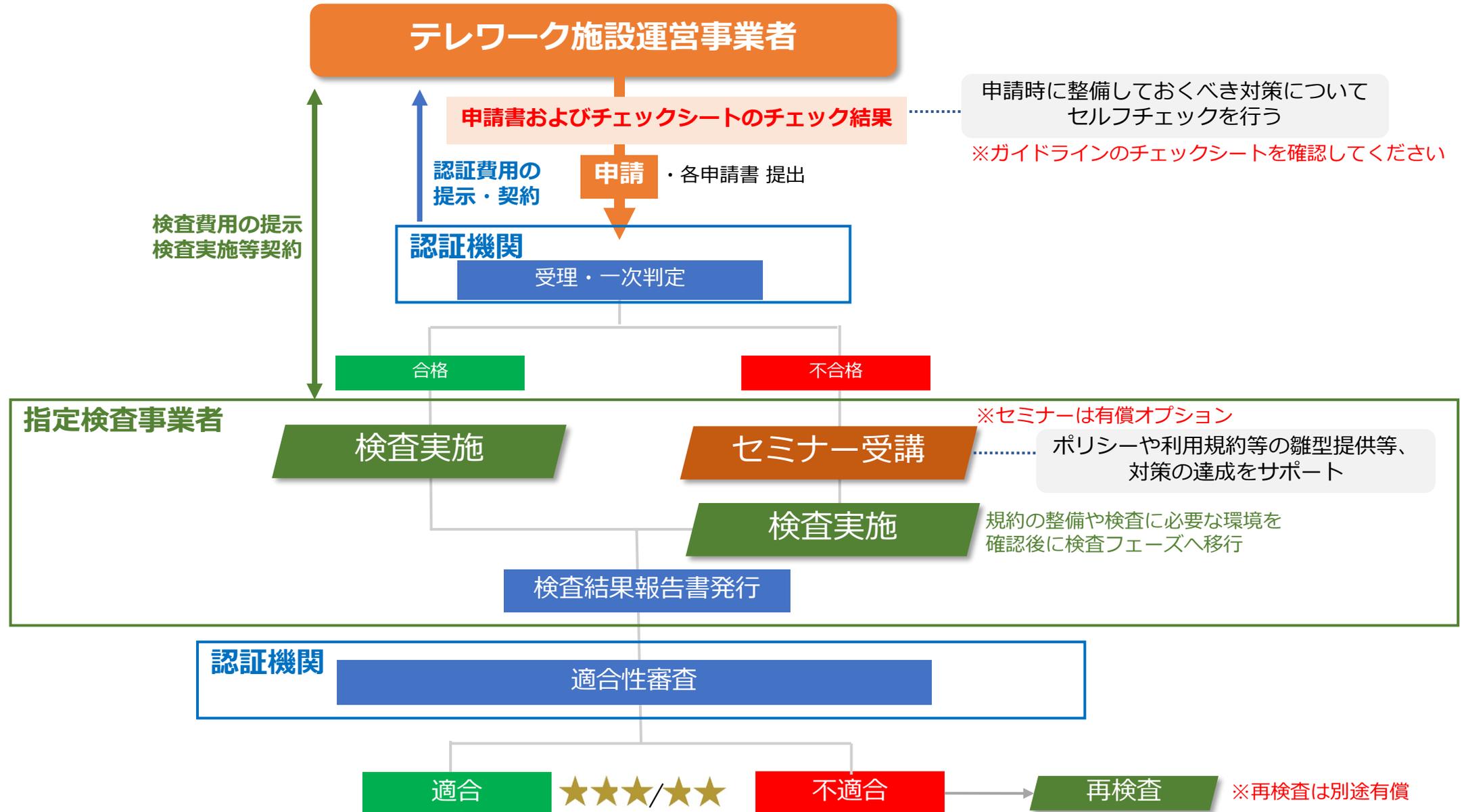
At the bottom of the form is a button labeled '検索する' (Search).

認証プログラムの運営体制

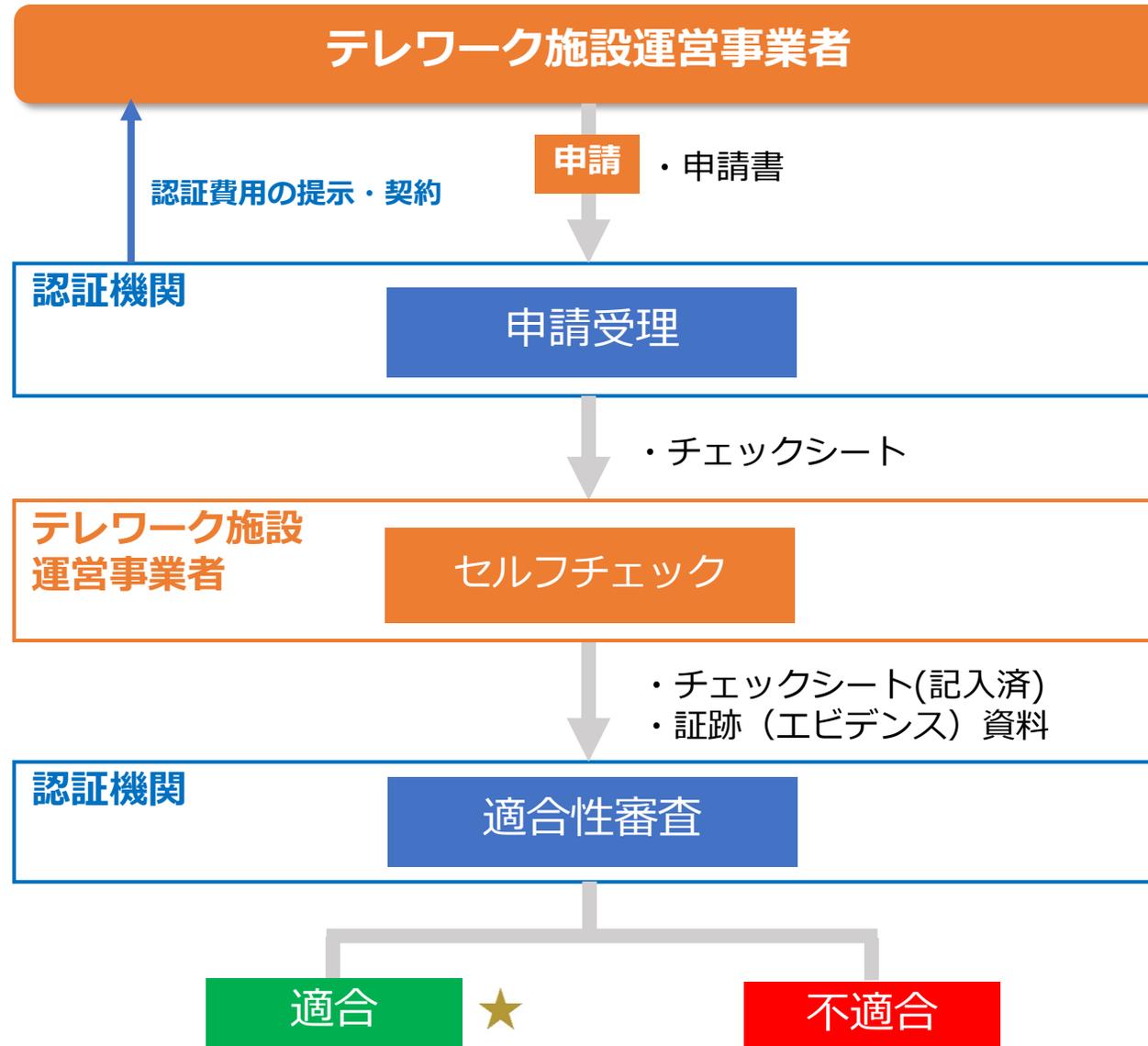
- 本プログラムは、テレワーク施設運営事業者の施設が認証基準に適合しているか検査する「指定検査事業者」と、検査結果報告により適合性を認証する「認証機関」により構成、運用される。
※セルフチェックグレードには「指定検査事業者」は介在しない。
- 指定検査事業者は認証機関の定める規定に基づき認証機関が指定する。
- 指定検査事業者は検査を行った評価を、検査結果報告書に記載し認証機関に提出する。認証機関はこの評価に何ら関与しない。



認証プログラムの申請フロー (プレミアムグレード/ビジネスグレード)



認証プログラムの申請フロー (セルフチェックグレード)



認証プログラムの審査手数料等費用概要

初回審査（申請手数料、証書発行料、検査料）

- プレミアムグレード 37万円(税別)～
- ビジネスグレード 22万円(税別)～
- セルフチェックグレード 10万円(税別)

1年ごとに更新審査

- 内容については変更の場合があります。
- 他にオプションメニュー等があります。
- 更新審査は別途見積もりいたします。

問い合わせ/申し込み

- 問合せ先/申込先：

「安心安全テレワーク施設認証プログラム」事務局

(セキュアIoTプラットフォーム協議会内)

E-mail: contact@secure-iot.org